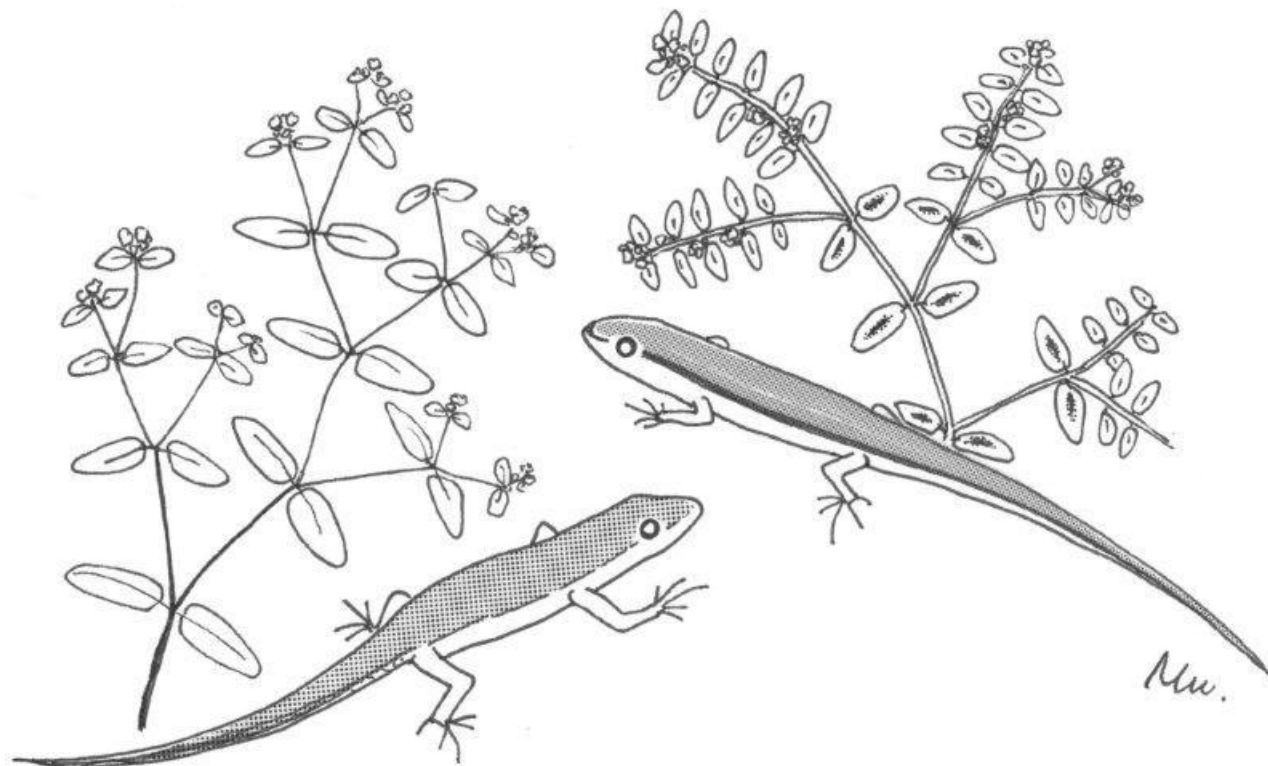




ゴロスケ報々



「どっちがなに？トカゲとカナヘビ・コニシキソウとオオニシキソウ」

●ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう●

友の会行事のお知らせ

ミズキの池ハイド前の草が茂っています。草刈を実施し、池の眺望を良くして、今年も子育てに成功したカワセミや、時々訪れる水鳥達が良く見えるように環境整備を一緒に行いましょう。

1. 日時 : 平成25年9月1日(日)
2. 集合場所: 観察センター前 9時10分
3. 作業時間: 9時30分～11時
4. 作業場所: ミズキの池ハイド前
5. 服装等 : 汚れても良い服装、飲み物、軍手、可能な方は昼食
6. 参加資格: 友の会会員(中学生以上)

担当 KFC(カワセミファンクラブ)

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

事務局からのお知らせ

●7月定例会報告●

2013年7月21日(日) 13:00~15:07

出席者 山口、村松(議長)、中里、青木、関根(書記)、落合、大浦、大越、篠原、半田、高橋
古南R、森R

1. 行事、PJ活動、ネットワーク関連、事務局(調査グループを含む)の活動報告・予定を確認しました。
2. ごろすけ館の利用予定の確認をしました。
3. 事務局関連
 - ・来年度の野鳥の会のカレンダーを150部発注します。
 - ・10/27「森のボランティアまつり」要項、「森のボランティア体験」マニュアルを確認しました。
 - ・友の会の募金箱をセンター内に再設置しました。
 - ・ゴロ報のメール配信について検討しました。ゴロ報10月号で提案を行い、ご意見を伺う予定です。
4. センターより
 - ・工事関係 上の野外トイレと車庫の改築、コナラの谷階段の修理、コナラの道改修(10月~)
ピクニック広場の水道企業団電気工事(実施中)
 - ・桜林検討会を7/20に実施。第2回は9/21(土)14時~。
 - ・業者による草刈りが、8月5日から行われます。

次回の定例会は9月15日(日)13時から(観察センター研修室)です。
定例会は友の会会員の方はどなたでも参加できます。

●事務局からのお知らせ●

1. ゴロスケ館の展示

現在、ごろすけ館では常設の「友の会の紹介」、カワセミファンクラブの「今月の鳥」、自然と遊ぼうの「季節の写真」、ZFCの作品展示の他、「チョウとトンボの写真展」「定点カメラで撮影した生き物の写真展」「野草の調査結果」などが展示されています。会員の皆様、ぜひ御覧になってください。

2. 「ごろすけ文庫」がスタート

会員の皆様の寄付による「ごろすけ文庫」がごろすけ館でスタートしました。利用は館内だけにさせていただきますが、どうぞご利用ください。また、自然に関する本で友の会に寄付できるものがありましたら、センターまでお持ちください。

●＜定例活動の報告＞ 森の案内人・ハンミョウの会 ●

ゆっくり森を楽しみに来てください

ハンミョウの会の定例ガイドウォーク「季節の森を歩こう」には、毎月のように参加してくれる常連さんがいます。その多くは生きもの好きの子どもたちですが、若い吸収力で私たちのガイドの内容を驚くほど理解してくれるたいへん手ごわいお客さんでもあります。例えばA君は、毎月のガイドで出会った素材を立派な生きもの図鑑風にまとめ、夏休みの自由研究にしたところ、その内容の深さに先生がびっくりされたそうです。

一方で同じく常連だったBさん。ジュニアガイドとして子どもの視点でガイドをしてもらったらどうだろうとメンバーで相談をして、本人に声をかけたところ、とても喜んでくれました。そこで家で相談してもらって、その後、一人で電車やバスを乗り継いで、朝の下見から参加してくれるようになりました。ところが、ある時から急に顔が見えなくなり心配していましたが、先般久しぶりにご両親と一緒にガイドウォークに参加してくれました。そこで私たちは大変ショッキングな話をお母さんから聞くことになりました。

数か月前のガイドウォークの下見の朝、横浜霊園前でバスを降りたBさんは、観察の森の方に道を横切ろうとして反対車線からの車にはねられ、全身を打って気を失い、しばらく入院をしていたというのです。あるいは彼女を運ぶ救急車の音が、下見をする私たちの耳にも聞こえていたかもしれせん。

今はだいぶ回復して、ようやくご両親と一緒に森に来れるようになったということで気丈夫に振る舞ってくれたBさんでしたが、まだ残る包帯や傷痕から事故が決して小さなものでなかったことがよくわかりました。

私たちの声かけがなければ、あるいは事故に合うこともなかったのではないかと、思うといたたまれないものがありますが、Bさん、これからは好きな時に、ゆっくり森を楽しみに来てください。森の仲間も生きものたちも、いつでもあなたを待っています。

陸を渡るオオミズナギドリ

秋晴れの2012年11月14日に、仲間二人と共にこの森の上空を通過するオオミズナギドリを観察できました。これはこの森での初記録との事です。オオミズナギドリはミズナギドリ目の大型海鳥で、夏鳥として飛来し、北海道から八重山諸島までの日本列島周囲の離島で繁殖し、冬になるとフィリピンやオーストラリア北部周辺海域へ移動します。大型海鳥の例に漏れず長命で、標識放鳥された個体の回収により、36年8ヶ月との記録¹⁾があります。(体重は500g前後ですので、同体重の哺乳類と比較して、とてつもなく長命です。)

発見時は低空を羽ばたいており、白く輝く翼、独特のフォルムですぐにミズナギドリ目の海鳥と気づきましたが、種名は自宅パソコンの画面で確認できました。昨年5月に滞在していた小笠原諸島で良く観察できた鳥ですので、その時は思わず懐かしさで長時間画面に見入ってしまいました。

さて、いつもは沖合を悠然と滑空するオオミズナギドリが、何故横浜上空を“羽ばたきながら”飛んでいたのでしょうか？

すぐに思いつくのが、悪天候による迷行です。悪天候で400羽のオオミズナギドリが落下した先例もあります。(黒田²⁾)

しかし、発見当日から一週間遡った期間の関東、甲信越の気候記録を調べても、穏やかな天候であり、悪天候と言える状況は無かった事が分かりました。これはどうした事でしょう。更に文献調査を進めると、栃木県などの内陸部で多くのオオミズナギドリが落下保護されている事が判明しました。(久武³⁾) これによりますと、昭和51年度から平成14年度までの27年間に、内陸県である栃木県で計40羽のオオミズナギドリが保護され、やはり内陸県の群馬県でも昭和51年度からの21年間に計55羽が保護されています。久武氏の研究によりますと、これらの記録の内、台風などの影響が考えられるものはごく少数で、殆どは11月上旬から中旬に吹き始める北西からの季節風に乗って、積極的に南洋へ渡ろうとしていた個体ではないか、との事です。日本海側にもオオミズナギドリの繁殖地は新潟県粟島などいくつも有り、巣立ちの時期はちょうど11月上旬～中旬です。どうやら日本海側から群馬、栃木を経由する渡りのルートがあるらしい、と久武氏は推論しています。

日本海から群馬、栃木を経由して太平洋へ抜けるルート？では太平洋への出口はどこでしょうか？私は密かに出口は横浜を含む神奈川県にあるのではないかと考えています。

毎年見掛けても白いから“カモメ類”と括られていた鳥の中にオオミズナギドリが混じっていたのなら、ロマンを感じませんか？11月のこの森の空で白い大型鳥が一生懸命羽ばたいていたら、皆さん「頑張り！落下するなよ！」とエールを送ってあげて下さい。

KFC 大浦晴壽

1) (公財) 山階鳥類研究所 2011年鳥類標識調査報告書 鳥類標識検討会

2) 黒田長久 「オオミズナギドリの関東への大量迷行について」 山階鳥研報
1966 第4巻 第5号 p388~396

3) 久武俊也 「栃木県における傷病鳥としての海鳥保護記録」 野生鳥獣研究紀要
No.29 (2003) p95~102

●森のボランティアまつり●

10月27日(日) 10:00~13:30

一般の方々に友の会の活動を紹介し、いろいろなPJの体験をしていただきます。詳しくは後日ホームページに掲載します。会員の方々は参加者としてだけでなく、スタッフとしてのお手伝いもお願いします。スタッフとしてお手伝いいただける方は、センターまでご連絡ください。

スタッフとしてのお仕事・・・受付、参加者の道案内、友の会紹介の秋芝居の上演など

●森を守る作業体験-炭焼き-●

「横浜観察の森」の美しい森を守るために伐った木を炭にします。

1. 日時：9月28日(土) 9:00~12:00、9月29日(日) 13:00~16:00

2. 対象：小学生以上誰でも ※小学生の方には成人同伴者が必要です。

3. 申込必要：センターか雑木林ファンクラブまで

eメール：entry_zoki@yahoo.co.jp

4. 持ち物・服装について

長袖・長ズボン・帽子・手袋(イボ付き軍手など)・汗拭きタオル・昼食(味噌汁を用意します)

5. 作業内容

9月28日(土) 炭焼き管理、及び、火を親しむ体験(火起こし、バームクーヘン焼きなど)

9月29日(日) 炭焼き管理、及び、「ねらし(精煉)作業」を体験

6. 雨天・荒天時について

雨天決行

7. 集合場所：センター前

8. 担当：雑木林ファンクラブ

観察センターからのお知らせ

園内の改修工事の予定

- ① **野外トイレ・車庫の改修工事** 平成25年10月～平成26年3月
 - ・センター近くの野外トイレと倉庫を撤去し、新しく新設します。
- ② **園内工事** 平成25年12月～平成26年3月
 - ・ミズキの道のコナラの谷部分の階段の改修、デッキの新設を行います。
 - ・コナラの道⑥～⑪付近の園路の舗装工事を行います。
 - ・園内各入り口（5箇所）に総合案内看板を設置します。
 - ・ベンチの設置。
- ③ **朝比奈調整池工事** 平成25年7月～平成25年12月
 - ※この期間、車両出入りのためピクニック広場の通行に規制がかかる日があります。
 - ・ピクニック広場の一角に設置されている、神奈川県広域水道企業団「朝比奈調整池」の電気工事が行われます。
 - ・来年度以降の予定：26年8月～平成29年3月に耐震工事が予定されています。

工事に関する情報は、引き続きお知らせしていきます。

みなさまにはご不便おかけしますが、どうぞよろしく願いいたします。不明な点などありましたら、レンジャーにお問い合わせください。

観察センターからのご報告

【保安全管理関連のご報告】

保安全管理の勉強会（第1回）

～バッタ・キリギリスの勉強会～

■日時：7月6日（土）13:00～16:00

■講師：槐真史さん（厚木市郷土資料館）

■参加者：29名（友の会会員他）

■内容：桜林の保安全管理の参考にするための勉強会です。この日はまず室内で、バッタ・キリギリスの仲間（直翅類）はどんな生きものか、調べ方について聞いた後、ピクニック広場で網を片手に捕獲と見分け方について勉強しました。時期的に幼虫が多かったのですが、ツチイナゴやショウリョウバッタの新成虫もみつかりました。成虫が増えてくる時期に補講を行ないます。（お知らせ欄参照）

（こみなみ）



保安全管理懇談会 ■日時：6月30日（土）15:00～17:00

■出席者：友の会会員（12名）

横浜市みどりアップ推進課・レンジャー

■内容：初の試みとして、今年度の環境管理（改修工事）について、横浜市、レンジャー、友の会の皆さんの計画を説明し合い、調整すべき点を話し合いました。



桜林の検討会 ■日時：7月21日（土）15:00～17:00

■出席者：友の会会員（11名）

横浜市みどりアップ推進課・レンジャー

■内容：天狗巣病の発生等で管理が課題となってきた桜林について、4回の検討会を通して管理計画を立て、結果を見て行こうという企画です。雑木林ファンクラブ、ハンミョウの会、カワセミファンクラブ、「野草の調査と保護」の皆さんのご出席で、桜林の植物、鳥類、トンボ、チョウのデータを確認、その後現地を歩いて、課題を話し合いました。

【これからの保全管理関連のお知らせ】

会員の方ならどなたでも参加可能です！

■ 保全管理勉強会 ■ 外部講師を招いて勉強会を実施します！

■ 第1回 補講～バッタやキリギリス～

内容：バッタやキリギリスの仲間の見分け方を中心に学びます。

日時：9月23日（月祝）13:00～16:00

講師：^{えんじゅ まさし} 槐 真史さん（厚木市郷土資料館学芸員）

テキスト：日本の昆虫 1400①（文一総合出版）



■ 第2回 テーマ：雑木林の植生

内容：横浜自然観察の森の雑木林と林縁の植物について（その特徴）。座学と野外を回りながら学びます。

日時：10月12日（土）13:00～16:00

講師：北川淑子さん（多摩丘陵舎）

■ 桜林の検討会 ■

【第2回】9月21日（土）14:00～16:00 研修室、桜林にて

内容：管理方針の相談、利用者への周知の計画等（予定）



★友の会会員の方はどなたでもご参加できます。以上のお申込は前々日までに自然観察センターレンジャーへ。電話 045-894-7474 E-mail yokohama-nc@wbsj.org (こみなみ)



ホランシアさん ありがとう



*** 6/6～8/8の間 ***

- 6/15.22 村松古明さん 中里幹久さん 中里裕子さん 馬男木嘉久さん 小泉喜弘さん 山本富一さん
- 23.29 大越哲朗さん 大越節子さん 吉田賢一さん 片岡章さん 藤原功さん 鈴木昭司さん
- 上原明子さん 水上重人さん ホタル「ゲンちゃんへいちゃんの紙芝居劇場」サポート
- 6/21 大浦晴壽さん 上映用DVD「2013年早春～初夏野鳥のにぎわい」の提供
- 6/22 雑木林ファンクラブのみなさま 日清オイリオ株式会社社会貢献活動協力
- 6/29 雑木林ファンクラブ大越哲朗さん すぐろく用木のサイコロの提供
- 6/30 保全管理懇談会にご出席いただいた皆さん
- 7/13・14 中里幹久さん 中里裕子さん 中塚隆雄さん 山口博一さん 森の絵本づくりの会の皆様
栄区主催イベントへのご協力
- 7/19 野草の調査と保護事務局内調査グループのみなさま 園内草刈時の野草確認とロープ囲い協力
- 7/20 桜林の検討会にご出席いただいた皆さん
- 7/21 定例会にご参加いただいたみなさん 車庫の片付けへのご協力
- 7/27 片岡章さん 篠原由紀子さん 藤田薫さん 保全管理計画ヒアリングに伴うご協力
- 7/28 漆原弘光さん いきものを守るシリーズサポート
- 8/3 雑木林ファンクラブのみなさま 横浜栄高校フィールドワーク活動協力
- 7/末 大浦晴壽さん 落合道夫さん 篠原由紀子さん 中塚隆雄さん 平野貞雄さん 藤田剛さん
藤田薫さん 保全管理計画書へのアドバイス
- 6/6-8/8 カワセミファンクラブのみなさま 展示用野鳥・昆虫写真の提供、自然情報の提供
- 6/6-8/8 野草の調査と保護事務局内調査グループのみなさま 自然情報の提供
- 6/6-8/8 平野貞雄さん 展示用トンボ写真の提供

みなさま たくさんのご協力、ありがとうございました

作成：森 初恵 イラスト：大久保香苗・森初恵

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう

9/1 (日) 9:10～11:00

集合：自然観察センター前

対象：友の会会員（中学生以上） →1ページ参照

●定点カメラで動物調査

9/14 (土)、10/12 (土)

9:30～12:00

調査は友の会会員向け。

11時からの写真チェックは、市民どなたでも参加できます。

雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

調査に参加される会員は、汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参。

5～12月の毎月第2土曜日。ごろすけ館集合。

●森を守る作業体験 炭焼き →5ページ参照

9/28 (土) 9:00～12:00、

9/29 (日) 13:00～16:00

対象：どなたでも ※小学生は成人同伴者が必要

申込み：必要。自然観察センターかZFCまで

●森のボランティアまつり →5ページ参照

10/27 (日) 10:00～13:30

詳しくは後日ホームページに掲載します。

■森のちびっこたんけん隊

日時：2013年10月5日(土)・6日(日)

10:00～12:00 雨天決行

対象：3歳～6歳の未就学児とその保護者

各回40名まで

内容：レンジャーと一緒にもりの「ふしぎ」を探しにいこう！

申込み：事前申込制（詳細はHP参照）

担当：自然観察センター

■いきものを知る守るシリーズ

～草地のパトロール隊になろう～

日時：2013年9月7日(土)

10:00～15:00 雨天9/14に延期

対象：小学生とその保護者40名

(申込多数の場合は抽選) 8/24日締切

内容：草地に暮らすいきものを調べ、守るための方法を考えます。

申込：事前申込制（詳細はHP参照）

担当：自然観察センター

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の目的や活動内容の紹介とルールを～

10/20 (日) 9:30～14:00

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも 雨天催行

*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう (園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

9/1 (日)・10/6 (日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング (野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

9/8 (日)・10/13 (日)

9:00～13:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～自然をテーマにした絵本づくり～

9/18 (水)・10/16 (水)

10:00～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●自然と遊ぼう (園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

8/24 (土)・9/28 (土)・10/26 (土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2013年8月18日

発行 〒247-0013

横浜市栄区上郷町 1562-1

横浜自然観察の森友の会

電話 045-894-7474 FAX 045-894-8892

郵便振替 00240-1-59172

年会費 大人 2000円 小中学生 600円

http://www.geocities.jp/yns_tomo/

E-mail:yns_jimu@yahoo.co.jp

【この会報は、友の会ボランティアによって作られています】

《全頁無断転載を禁じます》

次回：定例会 9/15 (日)、原稿締切 9/21 (土)、発送 10/20 (日) (発送担当：ZFC)